



「宝塚すみれ隊」ってなあに？



突然わからない言葉を言われたら？

黙っちゃう？ それとも～？



軍手を2枚重ねではめた手で鶴を折ってもらい、すみれ隊のメンバーが心を鬼にして？「おそい～時間ありませんよ～もっとキレイに揃えて～」と言って回ります。

日頃私たちの子どもが、どんな思いをしているのか？の体験です



市役所の窓口

対応マニュアルあるある版



一般社団法人宝塚市手をつなぐ育成会

〒665-0825 宝塚市安倉西 4-1-7



☎ 86-9883 fax 86-9299

Mail : takarazukaikuseikai@peace.ocn.ne.jp

① 知的障がい者 疑似体験「宝塚すみれ隊」の啓発活動を手掛けようと思ったのは？

障害があると聞くと「かわいそう」「大変そう」「ちょっと怖い」「関わりたくない」・・・人は『知らない』ことを恐れます。私たちは、障害のある子の母となり、今まで障害者に対して偏見があったことに気づきました。障害があるという事の「暗い」「不幸」というイメージを変えたい。「知ってもらおう」「正しく知ってもらいたい」と思いました。「どんな障害？」きっと周りの人は聞きたいけれど、聞けない・・・私たちは聞いてほしいのです。知ってもらっていたら「楽」なのです。聞いてもらうのを待つのではなく、私たちの方から聞いてください、知ってくださいと出かけてい行く「宝塚すみれ隊」を始めました。

② 活動開始までの準備期間で大変だったことは？

「知的障がい」というのは、目に見えない障害です。だからこそ疑似体験していただくことでよりわかりやすかったのですが、一人ひとり症状も違います。自閉症の人とダウン症の人では、人とのかかわり方が全く違いますし、物の見方などは全く正反対の見方をします。知的障がいの人たちは「こんな人達なのです」という答えが一つではないところで、どんな台本にするかをとっても悩みました。

③ 開始はいつから？

27年の12月に、幼稚園の保護者の方から「障がいについての話を聞かせてほしい」という依頼がありました。それで、パワーポイントを使ってお話しさせていただいたのが始まりです。

④ 活動の効果は・・・？

すみれ隊で行かせていただく時には、いつも私たちの活動のパンフレットや機関誌を皆さんにお渡ししています。その中に協力会員の募集をさせていただいているのですが、最近、協力会員になって下さる方が増えてきました。私たち、手をつなぐ育成会の活動スローガンは「つながろう～わかりあおう～」です。きっと「理解の輪」が広がっていているのだらうと思います。

⑤ 「すみれ隊」の啓発活動で大切にしていることは？

疑似体験が「へえ～そうなんだ」「これは大変だ～」で終わってしまわないこと。障がいのある人たちが「どんな気持ちなのか？」まで理解していただけるようにしたいと思っています。

⑥ この活動をどのように広げていきますか？

今は大人向けの疑似体験プログラムですが、今後は子供達を対象にアイマスク体験や車いす体験等と同様に「知的障がい疑似体験」が小学校でしていただけたらと思っています。障がいがあるから「不幸」なのではなく、障がいに対する「偏見」があることが不幸なのだということを広く皆さんに知っていただきたいです。